

年 組 名前：

周辺店の総菜 小分け販売

幸町の店 食品ロス削減へ

甲府市幸町の「ya:me (ヤミー)」は、周辺の飲食店などから購入した総菜などをカップに小分けにし、「カップデリ」として販売している。食べきれるよう小分けにすることで、フードロスを削減する狙いがある。来店客から募った寄付を基に、家族の世話などを担うヤングケアラーの子どもに無料で商品を提供する取り組みもしていて、店を運営する建設業の明善（同市住吉2丁目）の飯田由貴恵社長(47)は、「社会課題を解決する手助けになればいい」と話す。

〈清水方善〉



食品を小分けで販売したり、ヤングケアラーに無料で提供したりしている「ya:me」
＝甲府市幸町

ヤングケアラーに提供も

食べきれる量を提供することで、フードロス削減につながる」とある飯田社長は、新聞でヤングケアラーの記事を目にしたこと

店では来店客からの募金も受け付けている。寄せられた善意は、ヤングケアラーが来店した際の購入費に充て、無料で提供する。ヤングケアラー以外でも18歳未満であれば200円までの商品は無料で提供し、200円を超えた分は200円引きで販売する。

店が4月にオープン。周辺の精肉店やベーカリーなどから購入したパンや唐揚げなどを、1人で食べきれる量に小分けにして提供している。飯田社長は「食

障害のある母親の介護経験がある飯田社長は、新聞でヤングケアラーの記事を目にしたことから出店を計画したという。飯田社長は「困っている子どもの助けになればいい。店を利用した子どもたちが、自分の受けた恩を次の世代にも受け継いでいってほしい」と話している。

営業時間は午前11時から、夜は休み。

(2025 年 5 月 10 日付 山梨日日新聞 17 面)

問1 甲府市幸町の店が販売している「カップデリ」は、何を小分けして販売していますか。

.....

問2 この店では、「フードロス削減」以外に、どのような取り組みも行っていますか。

.....

問3 あなたが、「フードロス削減」を実践する場合、どのような取り組みをしたら良いと考えますか。

.....